

平成30年1月18日 在留邦人新年賀詞交換会あいさつ

新年あけまして、おめでとうございます。厳しい天気の中、足をお運びいただき、ありがとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

平成30年、フィンランドでは独立100+1の年になります。それをお祝いするお祝いされる、引き続き日本とフィンランドとの活発な人の往来が見込まれます。日本からも、昨年とは少し様子の違うお客様が、今年のどこかで登場します。どうぞお楽しみに。

お互いの無事を確認し合いますこと、この集まりの大きな目的の一つです。引き続き安全への注意怠りなく、来年も再来年も変わらずお互いの無事を確認し合えますこと、何より大切なことであると思います。

在留届提出の徹底を、よろしくお願いいたします。このような行事へのご招待から、万が一の際の安否確認や緊急連絡まで、すべては在留届に記載の連絡先が頼りです。連絡先に変更が生じた際は、速やかに変更届けの提出をお願いいたします。

フィンランドは落ち着いた国ですけれども、都市開発や再開発は次々色々とやるのが好きようです。街の景色が日々あちこちで変化しています。ヘルシンキだけでも、トラム路線が変更し、地下鉄が延び、つられてバス路線が変更し・・・本日もご面倒おかけしました・・・色々変わり続けています。

幸い、変化や変更のこまめなお知らせ、前後の様子についての報道など、情報の伝達という点で、フィンランドの社会は大変優れていると思います。フィンランド語がわからなくても、新聞やTVやネットの写真、フィンランド語のわかる同僚や友人からの口コミ、ヤフーの翻訳でもフィンランド語→英語の翻訳は結構使えます。データ活用に長じた社会ならではのメリットです。

情報収集の備えを日頃から尽くすこと。それが、ここフィンランドでの一番の安全対策だと思います。警察の交通規制情報も、その気になって眺めれば、中々の安心材料です。情報収集の備え、引き続きよろしくお願いをいたします。

いくつかお願いをいたしました。最後に今日一番大切なお願いです。どうぞ楽しいタベをお過ごし下さい。本年もまた、皆さまにとり良い年となりますよう、お祈りを申し上げ、新年のご挨拶といたします。